

- 問1 1895年、日清戦争の講和条約である下関条約によって日本が一度は獲得したものの、ロシア・ドイツ・フランスの3国からの要求を受け入れて、清に返還することになった地域はどこですか。 (2024年 和歌山県公立入試 類似)
1. 台湾 2. 山東半島 3. 澎湖諸島 4. 遼東半島
- 問2 明治時代、フランスに留学して現地の印象派から大きな影響を受け、帰国後に日本で洋画の普及と振興に努めた人物は誰ですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
1. 横山大観 2. 岡倉天心 3. 黒田清輝 4. 狩野永徳
- 問3 明治政府が足尾銅山鉍毒事件への対策を遅らせ、被害住民の訴えを退け続けた背景として、当時の政府が優先していた国策の観点から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2019年 大阪府公立入試 類似)
1. 当時は環境基本法が整備されていなかったため、政府は司法の判断が出るまで一切の介入を禁じられていた。
2. 被害を受けた農民たちが政府に対して金銭的な補償を拒否し、自力での復旧を強く望んだため。
3. 銅は主要な輸出製品であり、富国強兵を推し進めるための貴重な外貨獲得源として産業の発展が優先された。
4. 衆議院議員の権限が内閣よりも圧倒的に強く、政府が独断で鉍山の操業を止めることができなかった。
- 問4 明治時代から明治末期にかけての日本の産業発展の歩みについて、次の3つの出来事を年代の古い順に並べたものとして正しい組み合わせはどれですか。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
1. 富岡製糸場設立 → 南満州鉄道株式会社設立 → 官営八幡製鉄所操業開始
2. 官営八幡製鉄所操業開始 → 富岡製糸場設立 → 南満州鉄道株式会社設立
3. 富岡製糸場設立 → 官営八幡製鉄所操業開始 → 南満州鉄道株式会社設立
4. 南満州鉄道株式会社設立 → 富岡製糸場設立 → 官営八幡製鉄所操業開始
- 問5 明治時代、自由民権運動の高まりとともに、国会開設や憲法制定に向けた動きが加速しました。「民撰議院設立建白書の提出」「内閣制度の発足」「国会期成同盟の結成」という3つの出来事を、起きたのが古い順に正しく並べたものはどれですか。 (2019年 熊本県公立入試 類似)
1. 内閣制度の発足 → 民撰議院設立建白書の提出 → 国会期成同盟の結成
2. 民撰議院設立建白書の提出 → 内閣制度の発足 → 国会期成同盟の結成
3. 民撰議院設立建白書の提出 → 国会期成同盟の結成 → 内閣制度の発足
4. 国会期成同盟の結成 → 民撰議院設立建白書の提出 → 内閣制度の発足
- 問6 伊藤博文の経歴とそれに関連する出来事について述べた次の説明のうち、誤っているものはどれですか。 (2019年 福島県公立入試 類似)
1. 自由党の結成を主導し、初代総理大臣として民権派の意見を全面的に反映させた憲法を制定した。
2. 内閣総理大臣を退いた後、初代の韓国統監に就任して韓国に対する統治政策に関わった。
3. ドイツの法学者グナイストやシュタインに学び、日本の憲法草案の作成にあたった。
4. 岩倉使節団の一員として欧米を訪問し、先進諸国の法制や産業の状況を視察した。
- 問7 陸奥宗光が領事裁判権の撤廃に成功した背景として、当時の日本が欧米諸国に対してどのような状況にあると認められたことが大きな要因となりましたか。 (2022年 岐阜県公立入試 類似)
1. フルマントン号事件において、日本側が有利な判決を勝ち取ったこと
2. 欧化政策を推進し、鹿鳴館での外交がイギリスから高い評価を受けたこと
3. 日清戦争に勝利し、下関条約によって多額の賠償金を得たこと
4. 大日本帝国憲法の制定や法典の整備により、近代国家としての体裁が整ったこと
- 問8 明治時代の日本では、産業革命が進み資本主義が発展するなかで工場労働者が急増しました。しかし、当時は低賃金や長時間労働といった過酷な状況が一般的であり、こうした労働環境の改善を求めて労働者が組織的に行った活動を何と呼びますか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
1. 労働運動 2. 文明開化 3. 自由民権運動 4. 小作争議
- 問9 明治時代に建設された官営製鉄所の所在地について、九州北部の福岡県に位置する地点を「Y」とした場合、この場所が選ばれた理由と工場の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 北海道公立入試 類似)
1. 地点「X」にあるような生糸の輸出港に近かったため、富岡製糸場が建設された。
2. 日露戦争の賠償金によって資金が豊富だったため、八幡製鉄所が建設された。
3. 近くに筑豊炭田があり、石炭の調達に有利だったため、八幡製鉄所が建設された。
4. 広大な未開拓地が広がっていたため、軍需工場として八幡製鉄所が建設された。
- 問10 1889年の大日本帝国憲法発布から1914年の第一次世界大戦開始までの期間における、日本の文化的な出来事として正しい説明はどれですか。 (2023年 長崎県公立入試 類似)
1. 太陰暦が廃止され、太陽暦が採用されたことで人々の生活リズムが変化した
2. 夏目漱石が「坊っちゃん」などの作品を発表し、近代的な個人のあり方を描いた
3. ラジオ放送が開始され、情報がリアルタイムで家庭に届くようになった
4. 湯川秀樹が中間子の理論を発表し、日本で初めてノーベル賞を受賞した
- 問11 日英同盟の締結に関わった人物について述べた文章として、正しいものはどれか。なお、この人物は明治政府の外務大臣として条約改正の交渉にも尽力した経歴を持っています。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
1. 陸奥宗光が外務大臣として日英同盟を締結し、領事裁判権の撤廃を実現させた。
2. 大隈重信が外務大臣として日英同盟を締結し、欧米列強との不平等条約をすべて解消した。
3. 小村寿太郎が外務大臣として日英同盟を締結し、後に関税自主権の完全な回復を成し遂げた。
4. 井上馨が外務大臣として日英同盟を締結したが、鹿鳴館外交への批判を受けて辞任した。
- 問12 明治政府は、近代化を進める「殖産興業」政策の一環として、群馬県に官営模範工場を設立しました。この工場で生産され、当時の日本の主要な輸出品となったものは何か、工場の名称と製品の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2018年 鳥取県公立入試 類似)
1. 富岡製糸場 ― 生糸 2. 大阪紡績会社 ― 綿糸 3. 富岡製糸場 ― 綿糸 4. 八幡製鉄所 ― 鉄鋼
- 問13 1890年から1917年にかけての衆議院議員選挙の統計において、1904年の約76万人から1908年の約159万人へと、有権者数がわずかに4年ほどで2倍以上に急増した現象が見られます。この背景として、当時の衆議院議員選挙法の規定と関連して起こった出来事の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 鳥根県公立入試 類似)
1. 日露戦争の戦費をまかなうために地租や所得税などの増税が行われ、選挙権の条件である直接国税10円以上の納税額に達する者が増加した。
2. 1905年に日露戦争が終結した直後、政府は国民の不満を和らげるために、納税額に関わらず25歳以上のすべての男子に選挙権を与えた。
3. 第一次世界大戦による好景気で国民の所得が向上し、直接国税15円以上を納める都市部の労働者が急増した。
4. 選挙法が改正され、納税条件が撤廃されたことで、それまで対象外だった小作農や工場労働者が一斉に有権者となった。